

小規模企業景気動向調査

[平成30年4月期調査]

～製造業を中心に2カ月連続の改善となった小規模企業景況～

2018年6月25日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年4月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…先月に引き続き、建設業を除く3業種において若干の景気好転が見られた小規模企業景況…◇

4月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)と売上額DIは小幅に改善、採算DIはわずかに改善、資金繰りDIは不変であった。前月に比べ製造業が大幅に改善したのに加え、4月になり入学・観光シーズンが到来したこと、晴天が多く、気温も温暖であったことから、サービス業において若干の改善が見られた。回復基調にもかかわらず、経営指導員からは、建設業を中心に、人手不足感が解消されず、消極的なコメントが目立った。

<製造業> ◇…好調な自動車関連部品・工作機械が業況を牽引する製造業…◇

製造業の業況DIと売上額DIは先月と比べると大幅改善、採算DIは小幅に改善し、資金繰りDIはわずかな改善に留まった。特に、自動車関連部品、工作機械については受注増加に伴う稼働率の向上と併せて、業績好調とのコメントが寄せられている。一方、紡績・繊維業については前年同月比では、資金繰りDIを除けば回復の兆しが見られるが経営指導員からのコメントの内容から見ると、数値ほど改善してはいない状況である。

<建設業> ◇…公共工事不足、大手との競合、人手不足、建築資材高騰等で不安要素の多い建設業…◇

建設業の業況DIは先月から一転、わずかに改善した。ただし、売上額DI、採算DIについてはわずかに悪化、資金繰りDIにいたっては大幅に悪化した。2～3月に降雪の多かった地域も、4月は晴天が続いて雪解けが進み、工事に取り掛かれたとの声が聞かれた。年度初めということもあり、公共工事の発注数が乏しく、一方で民間工事ではリフォーム工事の発注はあるが、大手ハウスメーカーとの競合や人手不足、建築資材の高騰により資金繰りが逼迫しているとのコメントが寄せられた。

<小売業> ◇…夏を先取りした暑さから、一部業態は好調も、足元は弱い小売業…◇

小売業の業況DIは先月から一転わずかに悪化した。売上額DIと資金繰りDIは先月とほぼ不変、採算DIはわずかに改善した。経営指導員からは、4月期は全国的に夏を先取りしたような暑さから、夏物衣料や耐久消費財のうちエアコンの販売が好調との、例年に無いコメントが目立った。また、食料品小売業では、野菜の高騰が沈静化してきており、消費者の購入意欲に回復の兆しが見られている。一方で、4月から小麦や乳製品の値上げにより一部商品で値上げの動きが見せており、息を抜けない状況が続いている。

<サービス業> ◇…天候や季節要因で全体的には好調であるが、一部地域で災害の影響に苦しむサービス業…◇

サービス業の業況DI、売上額DI、資金繰りDIは小幅に改善したが、採算DIはわずかに悪化した。4月期は晴天が続く気候も温暖であったことから、全国的に観光や行楽による需要が高まった。また、理美容業関係では入学シーズンの需要が発生し、洗濯業では衣替えの需要により好調を維持しているとのコメントがあった。一方で、4月は噴火が続いた月であった。特に硫黄山噴火に伴い、宮崎県では風評被害により宿泊業においてキャンセルが相次ぎ、予約数が激減しているとのコメントが寄せられた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 12.5	▲ 10.0	2.5	▲ 7.3	▲ 1.0	6.3	3.6	2.3	▲ 1.3
採算	▲ 15.7	▲ 14.9	0.8	▲ 16.1	▲ 12.1	4.0	▲ 8.6	▲ 9.4	▲ 0.8
資金繰り	▲ 10.4	▲ 10.4	0.0	▲ 8.9	▲ 7.3	1.6	▲ 3.9	▲ 8.6	▲ 4.7
業況	▲ 15.7	▲ 13.3	2.4	▲ 11.9	▲ 6.8	5.1	▲ 6.0	▲ 4.8	1.2

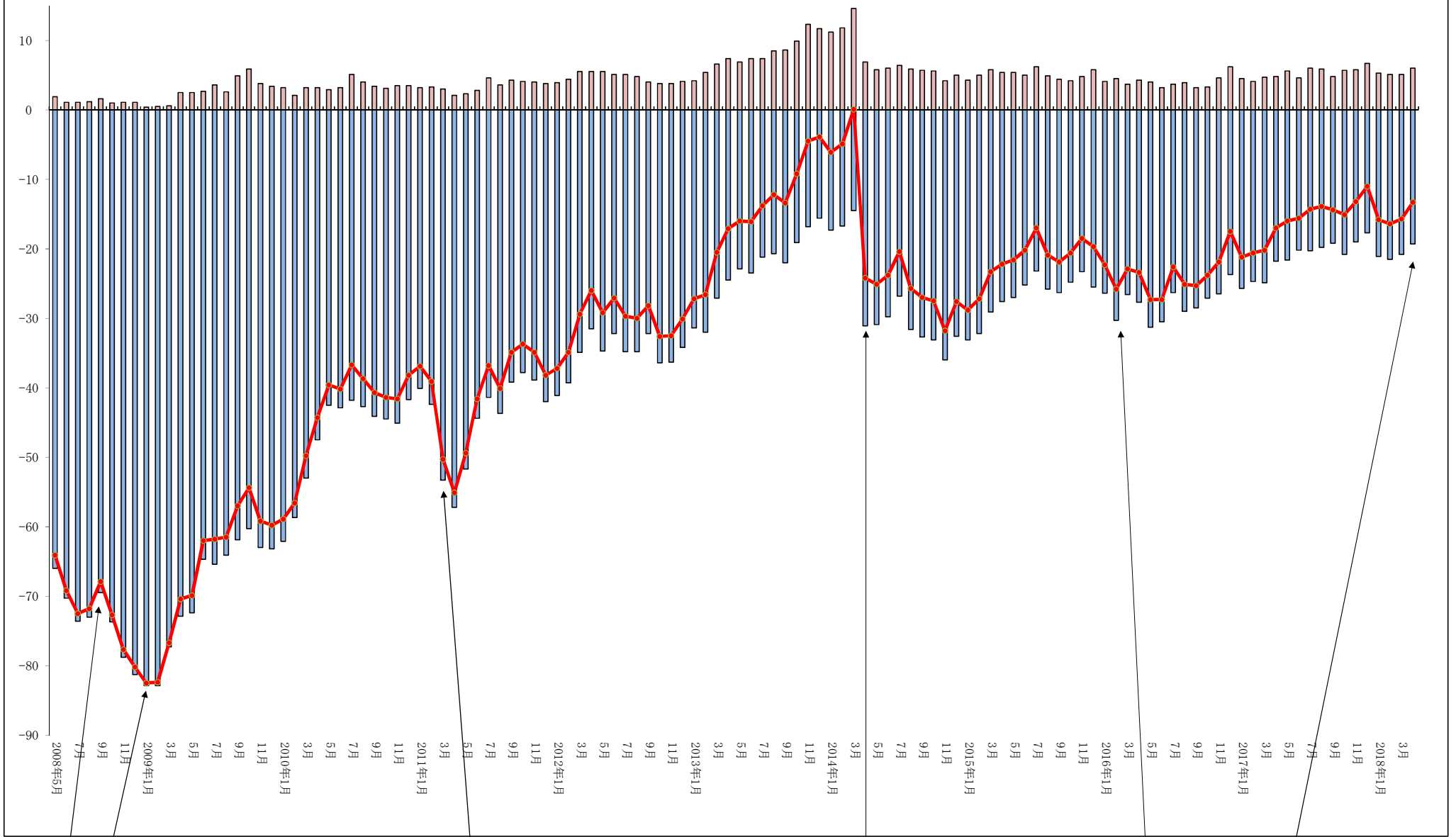
業種	小売業			サービス業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 24.6	▲ 24.6	0.0	▲ 21.4	▲ 16.7	4.7
採算	▲ 23.9	▲ 22.7	1.2	▲ 14.3	▲ 15.5	▲ 1.2
資金繰り	▲ 16.2	▲ 16.1	0.1	▲ 12.3	▲ 9.9	2.4
業況	▲ 25.3	▲ 25.9	▲ 0.6	▲ 19.7	▲ 15.9	3.8

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

18年/4月
-13.3

小規模企業景気動向調査(4月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・卒業入学・観光シーズンの到来による、小売・サービス業の若干の景気好転が見受けられる。金融機関等の状況はあまりかわらない。

(富山県上市町商工会)

・3月の春休み客も一段落し、観光需要もおちついてきたが、GWがはじまり、観光客が例年通り増えてきている。関連産業は、忙しくなっているが、例年とは差異のない状況。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・小売業・サービス業など厳しい状況に変わりはないが、季節の変わり目ということもあり、やや持ち直している感がある。全業種を通じて資金需要は引き続き低調であり、地域金融機関の貸出態度にも大きな変化は見られない。

(鹿児島県南九州市商工会)

・製造業は全体的に好調で長期的にみると、緩やかな改善傾向にある。だが、引き続き小規模事業者への波及に差が出ており2極化がみられる。建設業は、コスト負担増による工事量減少など足踏み状態が続いており、今後さらなる景況悪化が懸念されている。小売業やサービス業は、季節変動によって集客に苦しんでいる部分はあるが大型連休もあり前年同様の売上をキープできている。どの業種も人件費の上昇や原材料などの価格が高水準にあるため、課題になっている。

(秋田県由利本荘市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・地域全体的に少し景気は落ち込んでいる状況である。過疎地域のため人口減少が景気の落ち込みにつながっている状況である。金融機関の貸出態度は積極的であるが、借りる側の投資が減少している状況で融資数も減っている。

(大分県西国東商工会)

・製造業は景気は良いが人材不足が問題になっている。小売・サービス業は不況である。企業の資金需要は少な

(広島県呉広域商工会)

・一般消費者のサイフの紐が一番硬くなる時期で、小売業界は特に厳しい状況。金融機関からは他県からの競争が参入してきており、貸し出し態度は軟化している。

(宮崎県佐土原町商工会)

・今期は小雪のため例年GWまで稼働するスキー場も3月末で閉鎖のところが多かった。また、一般的に人手不足・従業員確保が困難である。

(長野県山ノ内町商工会)

・運送費の高騰により仕入単価の上昇が見られる。価格転嫁で苦慮している。

(佐賀県佐賀市南商工会)

・都会では、景気回復し、好調と聞かすが、悪い意味で堅調に推移している。新燃岳に続き硫黄山も噴火し、風評による観光客の減少が見られる。地理的には巨大噴火が怒らない限り、人的被害は予想しにくいのが、全国報道されるどうしても観光にはダメージがある。また、降灰の対策を考える必要もある。

(鹿児島県霧島市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・医薬品関連の製造業は、海外向け製品が好調であり、よい傾向が継続している。

(富山県上市町商工会)

・工作機械関連の製造業は受注が増え、業績は上向きである。

(愛知県大口町商工会)

・自動車関連部品製造業では、メーカー関連への売れ行き好調で売上は増加している。

・半導体制御装置・電子部品関連の製造業においては安定して受注できており、売上は少しずつ増えている。

・カーテン製造業では、前期と比較し売り上げは回復している。設備導入など積極的になっている。

(香川県高松市中央商工会)

・湖魚の食品製造や清酒製造会社のなかには、インバウンド効果で外国人の購入者増加してきている。

(滋賀県大津北商工会)

・フレコンバック製造業では、受注は安定しており価格競争に巻き込まれることなく、仕入れ単価の下落も相まって利益の確保もできている。

(岡山県備前東商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・受注は増加している。製造単価が上がらない小規模事業者が多いため、このような事業所は材料や経費の値上げにより利益が相殺される。

(山梨県河口湖商工会)

・経営改善対策として「人材の育成」を挙げる企業が増加傾向にある。人手不足や企業側が求める水準の人材確保難は、従来に比べ景気との連動性が薄れ、域内景気が低迷する当地にあっても顕在化している。これには、人口減少や世代間の人口ボリュームの偏り、雇用のミスマッチなど就業構造の変化を要因としていることがみとれる。

(岡山県真庭商工会)

・通販での売上が徐々に減ってきている。今年は新茶が去年より早かったが、値段は昔の二番茶と変わらない。ペットボトル茶が主流となり厳しい状況が続いている。(製茶製造業)

全国的にみると過去最高益を記録する事業所があるなど好調なのだが、町内でみるとかなり厳しい状況。(ゴム製品製造)

(静岡県森町商工会)

繊維工業は、業界の業況として、ニット製品以外の国内製造は採算が取れない状況。介護関係の繊維製品の製造は割が良い。原材料、資材、運送料昨年より上がっている模様。

(山口県岩国西商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・土木関連では公共工事依存から脱却した事業所を中心に業績を伸ばしている。
建築関連では、ハウスメーカーとの取引している事業所が好調の様子。

(山梨県河口湖商工会)

・消防設備関連の建設業は法改正により、宿泊施設を中心とした火災報知機の新設や取替工事で多忙な状況になっている。

(滋賀県大津北商工会)

・土木関連は、4月は落ち込む時期であるが、昨年からの災害復旧の入札もあり各業者とも仕事が行きわたっている。今後の見通しとしても本年度予算の入札が6月頃から始まり、今年度は各社とも仕事が行きわたると予測される。

(京都府京丹後市商工会)

・土木関連の建設業は災害や東京オリンピックの影響で業況は全体的に好転している。

(大分県玖珠町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・土木関連については、年度初めのため、仕事量が薄い状況がしばらく続く。

(富山県上市町商工会)

・宅地開発等により下請工事の増加やリフォーム等により若干増加の動き。しかし、宅地開発が進んでも大手ハウスメーカーが参入していることから、大幅な増収増益は見込まない状況である。

(岩手県矢巾町商工会)

・土建関係は官民両方の需要が少なく、依然厳しい状況に置かれている。住宅関連の建設業は4月に入り、消費増税を意識した新築工事が出始めてきたが受注のほとんどは大手ハウスメーカーで地元工務店は下請けの仕事が多く、苦しい経営環境にある。また、高齢による住宅関連の職人の廃業や引退が目につき始めており人手不足にいつ拍車に係ることが懸念されている。

(千葉県南房総市内房商工会)

・雪解けが早かった分だけ建設工事に早く取りかかれるため、建設業は全般的に前年同月よりは売上がやや増加傾向にある。ただし需要が増えているわけではないので、景況が好転している実感はない。

(新潟県妙高高原商工会)

・都心部など都市計画によりマンションの建設に伴い、建設費が上昇し人材不足が懸念されている状況にある。工事費の増加に伴い、新築一戸建ての材料費が増加傾向にある。

(神奈川県津久井商工会)

・今年度より町の住宅新築助成が終了し、新築工事減が懸念されている。そのため、前年同期にあった町内事業者の新築受注は今のところ0件である。土木関連は、大雪による除雪コストが大きかったため新年度になる4月は一時的に資金繰りが厳しくなった状況が見受けられる。

(北海道小平町商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・食料品(八百屋)関連の小売業は、野菜の高騰がひとまず沈静化されてきており、消費者の購入意欲も上がってきたようだ。

(埼玉県朝霞市商工会)

・衣料品関連の小売業は、真夏日の日も多く夏物衣料が例年より早く売れ出している。

(滋賀県大津北商工会)

・衣料品関連の小売業は学校関係の販売をしている業者は売上増になっている。

(茨城県城里町商工会)

・ゴールデンウエーク及び桜開花の効果から、食料品小売業の一部が若干の好転。

(青森県平川市商工会)

・4月の大型連休特需にあやかり、個人消費は持ち直しを感じた事業所が多い。特に食料関連では前年比で売上の増加が多くの事業所で見られた。

(兵庫県川西市商工会)

・観光客の需要は落ちているが、新年度が始まり異動に伴う生活用品等の売り上げが、大型店を中心に若干伸びている。

(鹿児島県あまみ商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・生花等の関連の小売業は、葬祭等を質素に行うようになったため、売上が減少傾向になっている。

(鹿児島県日置市商工会)

・入園・入学の時期であるが、少子化に加え、新品購入ではなく、おさがり品の活用が多くなり、業況は低調なままである。

(宮崎県高千穂町商工会)

・食品関連の小売業は三陸道の延伸に伴い市内スーパー等への流出が続いており、現状、売上の確保よりもコストカットに終始する傾向がある。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・パン製造販売関連の小売業は、乳製品の値上げによる懸念もさることながら、業界全体の労働力不足が不安視されている。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・宿泊業は冬場観光客減少等で厳しい景況だったが、4月から徐々に観光客等の入りがあり今後売上増の期待がある。

(新潟県相川町商工会)

・理容業にスポットすると季節的な特需(卒業式、入学式等)により、景気好況であると思料する。また、サービス業態全体を見ると価格競争の傾向にあり、独自性を創出した取組みが必要であると思料する。

(茨城県坂東市商工会)

・旅館業では予約状況に差があるが売り上げが増加している事業所がある。SNSでこまめに情報発信しているのが効果を上げている。

(兵庫県新温泉町商工会)

・道路の整備により県外からの観光客が増加。飲食店・宿泊業とも好調。

(山形県尾花沢市商工会)

・ゴールデンウエーク及び桜開花の効果から、宿泊業の一部が好転。

(青森県平川市商工会)

・洗濯関連のサービス業は、冬使用した寝具の洗濯のため、コインランドリーの稼働率が良い状況になっている。

(岐阜県高山西商工会)

・旅館関連のサービス業は、宿泊客は、昨年同月に比べ2割増し。天候も良く、インフルエンザ等の流行の影響もなく順調であった。

洗濯関連のサービス業は、本年度は早く気温が上昇したので4月の売上額が前期比で微増となった。

理・美容関連のサービス業は、前年同月と比較して、特段変化は見られない。

(岡山県作州津山商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・宿泊業者は、小雪によりスキー客は減少傾向。インバウンドは増加傾向。4月20日雪解けを待って開通した志賀草津高原ルートだったが、直後の白根山噴火警戒レベル引き上げで通行止めとなり懸念材料。

(長野県山ノ内町商工会)

・クリーニング業におきまして燃料の高騰により、資金繰りに若干の影響が見られる。

(北海道新ひだか町商工会)

・「旅館」…天候の割に入込客が少なく売上は減少となっている。後半は徐々に集客としては昨年並みになりつつあるが、客単価が低く採算にも影響している。

「洗濯」…売上等に大きな変動はないが、原油高騰により経営を圧迫している。

「理・美容」…創業が相次ぐ中、既存店舗は苦戦を強いられている。

(京都府京丹後市商工会)

・硫黄山噴火に伴う、風評被害等でホテル業界では宿泊客のキャンセルが相次ぎ、予約も激減している状況である。

(宮崎県えびの市商工会)